

デジタル中核人材による 地域の介護事業所への伴走支援

支援先事業所募集

自事業所で業務改善や介護テクノロジー導入・活用を実践してきた、デジタル中核人材養成研修の修了者があなたの事業所の「次の一步」を一緒に考えます。



対象 生産性向上に取り組む意向のある介護サービス施設・事業所

募集地域 青森県、山形県、福島県、千葉県、三重県

募集数 5事業所

支援期間 令和8年12月～令和9年2月（約2か月）予定

応募締切 令和8年**10月30日**(金) 13:00 **参加費** 無料

こんな「困った」ありませんか？

- 生産性向上委員会を設置したが、話し合いだけで終わり、具体的な取組が進まない。
- 機器やソフトウェアを導入したが、日常業務でうまく使えていない。
- 見守りシステムをいれたが、アラートが鳴りっぱなしになるため、アラートの設定をいれていない。
- 紙に書いたものを記録に転記しているシステムを使う人と使わない人にわかれてしまっている。

伴走支援で「次の一步」
をサポート



課題を整理

困りごとを整理し、優先する
取組を明確に



実践のヒント

他事業所の経験を参考に、
改善方法を検討



改善を進める力

管理者・職員と協力し、
小さな実践に挑戦

生産性向上の取組を担当する職員が、管理者・職員と協力し、
自ら改善を進めることをサポートします。

伴走支援者とのマッチング

支援先事業所決定

開始前打合せ

伴走支援

事業検証のヒアリング等

- 自事業所での実践経験を持つ伴走支援者が、事前研修を受けた上で担当します。
- 初回の現場訪問とオンライン面談を通じて、課題の整理、小さな実践と振り返りを支えます。
- 事件走終了後のヒアリング等にもご協力いただきます。今回の試行を、今後の支援体制の検討につなげます。



募集要項を確認して応募

応募条件・支援内容等の詳細は、募集要項をご確認ください。

<https://forms.gle/mbULhRfAwGZcJNNXA>

【問合せ先】株式会社善光総合研究所 デジタル中核人材事業担当 d-jinzai@zenkou-lab.co.jp

応募フォーム



デジタル中核人材養成研修修了者による伴走支援事業 支援先事業所募集要項（案）

本事業では、デジタル中核人材養成研修の修了者のうち、自施設で業務改善や介護テクノロジーの導入・活用等を実践してきた者を対象に、他事業所を支援する伴走支援をモデル的に実施します。伴走支援では、現場訪問やオンライン面談等を通じて、課題の整理や取組の検討、実践後の振り返りなどを支援します。

介護テクノロジーの活用や業務改善を進めたいものの、進め方に悩みを抱えている事業所にとって、実践経験を持つ身近な支援者と意見交換しながら取組を進める機会となります。

今回、この伴走支援を受ける介護施設・事業所を募集します。生産性向上に向けた課題の整理や取組の具体化を進める機会として、ぜひご参加ください。なお、本取組は、地域で生産性向上支援を担う人材の育成・活用の在り方を検証するモデル事業として実施するものです。

1. 目的

- ・ 本事業では、デジタル中核人材養成研修の修了者が、地域の介護事業所の生産性向上を支援できる人材として活躍するための仕組みづくりに向け、伴走支援を試行的に実施します。併せて、その実践を通じて、以下の事項について検討を行います。
 - ① 伴走支援者と支援先事業所との効果的なマッチング方法、デジタル中核人材養成研修の修了者が支援する際に必要なツール等を検討する
 - ② デジタル中核人材養成研修の修了者が、地域における身近な実践者として他事業所の取組を支援するために必要な知識・スキルを明らかにし、今後の伴走支援者養成プログラムの検討につなげる
- ・ 支援先事業所では、生産性向上の取組を担当する職員が、伴走支援者との対話を通じて課題を整理し、主体的に実践することを目指します。

2. 本伴走支援の位置付け

- ・ 伴走支援者は、デジタル中核人材養成研修を修了し、自事業所における業務改善等の実践経験を有する介護現場の実践者です。
- ・ 伴走支援者は、事前研修を受講した上で、研修の一環として、約2か月の伴走支援を試行的に実施します。
- ・ 支援期間中は、本事業の事務局・講師等が伴走支援者に対する助言・フォローを行います。支援先事業所には、デジタル中核人材養成研修の修了者による伴走支援の実施にご協力いただくとともに、その実践を通じた伴走支援者の育成及び支援方法等の検証にご協力いただきます。

3. 実施期間

2026（令和 8）年 11 月～2027（令和 9）年 2 月

※ 伴走支援は、2026（令和 8）年 12 月頃から開始し、約 2 か月を予定しています。

4. 募集事業所

- ・ 5 事業所（原則として、伴走支援者 1 名につき 1 事業所を担当）
- ・ 応募状況、事業所が抱える課題や取り組みたい内容、実施体制、所在地、日程等を踏まえて、伴走支援者とのマッチングを行います。

5. 募集対象地域

- ・ 伴走支援者が現地訪問可能な地域を基本として、次の 5 県で募集します。
青森県、山形県、福島県、千葉県、三重県

6. 対象となる事業所

- ・ 介護保険法に基づく介護サービスを提供する施設・事業所で、生産性向上・業務改善に取り組む意向があり、本伴走支援及び事業の検証にご協力いただける施設・事業所を対象とします。
- ・ 生産性向上の取組の中心となる担当者 1 名を定め、管理者等の了解のもと、管理者・協力者を含む原則 2 名以上の体制で伴走支援に参加できることを前提とします。

7. 生産性向上の基本的な取組に関する伴走支援の内容

- ・ 本伴走支援は、介護現場における生産性向上に関する基本的な取組を共通の支援内容とします。事業所が抱える課題や進めたい取組等を踏まえ、課題の整理、管理者・職員への相談や説明の準備、実践及び振り返りを支援します。

想定する介護事業所及び生産性向上担当者の相談の例

- ・ 生産性向上委員会を設置したが、話し合いだけで終わり、具体的な取組が進まない。
- ・ 機器やソフトウェアを導入したが、日常業務でうまく使えていない。
- ・ 見守りシステムをいれたが、アラートが鳴りっぱなしになるため、アラートの設定をいれていない。
- ・ インカムを導入したが、活用する場面やルールが定まらず、職員間の情報共有に十分に活かせていない。
- ・ 申し送りに時間がかかっている。
- ・ 紙に書いたものを記録に転記しているシステムを使う人と使わない人にわかれてしまっている。

8. 伴走支援の基本プログラム

- ・ 伴走支援期間は、開始から約2か月を予定しています。
- ・ 生産性向上の取組の中心となる担当者との対話を中心に、取り組むテーマを1〜2つに絞って支援を行います。開始前打合せ1回（40分）、現場訪問1回（3時間程度）、オンライン面談3回（各40分）を標準とし、事業所の状況や取組内容等に応じて調整します。最後に、アンケート調査と事業のヒアリングにご協力をお願いします。

※ 現場訪問は、原則1回とします。支援テーマや取組状況から必要性が高い場合には、事務局と協議の上、2回目の現場訪問を行う場合があります。

※ 現場訪問や視察については、感染症対策の必要性など事業所の状況等をふまえ、事業所と協議の上、訪問時期の変更やオンラインによる実施への切替など、柔軟に対応します。

9. 支援期間中に取り組む範囲

- ・ 本伴走支援は、大規模なシステム導入や組織改革そのものを目的とするのではなく、事業所の課題の整理や取組の具体化を通じて、継続的な取組につなげることを目指します。

10. 支援先事業所をお願いすること

- ・ 本事業への参加に当たっては、次の事項へのご協力をお願いします。
- ① 管理者等の了解を得た上で、主な支援対象となる生産性向上担当者1名と、管理者・協力者等を含む原則2名以上の担当者を設定すること。
- ② 事前打合せ、現場訪問、オンライン会議等に参加すること。
- ③ 伴走支援実施に当たり、現場確認や、必要な職員へのヒアリング等に協力すること。
- ④ 生産性向上の取組を担う担当者本人が、管理者や職員と相談しながら、合意した取組の準備や実践を行い、その結果を振り返ること。
- ⑤ 取組前後の状況確認、アンケート、ヒアリング等、本事業の検証に協力すること。
- ⑥ 伴走支援を通じて得られた結果や知見について、個人や事業所が特定されない形で、本事業の報告書等に活用することに協力すること。

11. 協力謝金

- ・ 本事業へのご協力に対し、支援先事業所に協力謝金（税込30,000円）をお支払いする予定です。支払条件および支払方法等については、採択決定時にご案内します。
- ・ 本謝金は現場訪問やオンライン会議の対応、アンケート・ヒアリング等、本事業の実施及び検証へのご協力に対してお支払いするものです。
- ・ 改善活動による成果の達成を謝金支払いの条件とするものではありません。
- ・ なお、伴走支援を受けるための参加費用はありません。

12. 応募に当たっての留意事項

- ・ 本事業は、デジタル中核人材養成研修の修了者による伴走支援を試行的に実施し、地域における支援人材の育成及びデジタル中核人材養成研修修了者の活用の在り方について検証するものです。
- ・ 伴走支援者は、介護現場における業務改善や介護テクノロジーの導入・活用等の実践経験を有する職員です。自らの経験を踏まえた助言や経験共有を行います。専門コンサルティング事業者として支援を行うものではありません。なお、本事業の事務局及び講師等が必要に応じて伴走支援者への助言・フォローを行います。
- ・ また、本伴走支援では特定の機器・ソフトウェアの購入・導入を推奨することを目的とせず、商品の販売・営業活動は行いません。
- ・ 本伴走支援は、課題の整理や取組の具体化を支援するものであり、支援期間内に全ての課題の解決や一定の成果の達成を目的とするものではありません。
- ・ 利用者の個人情報・要配慮個人情報については、原則として伴走支援者へ提供いただく必要はありません。現場訪問等に際しては、本事業で定める守秘義務・個人情報保護に関するルールに基づいて実施します。

13. 選定方法

- ・ 選定に当たっては、生産性向上の基本的な取組に関する相談内容、実施体制、支援期間内での取組可能性、現地訪問の可否及び日程、サービス種別等のバランスを総合的に考慮します。
- ・ 応募多数の場合は、必要に応じてオンライン等による事前ヒアリングを実施する場合があります。
- ・ 応募いただいた場合でも、伴走支援者とのマッチングや事業全体の実施体制等により、支援先として選定されない場合があります。

14. スケジュール

- ・ 以下は現時点の予定です。具体的な日程は、関係者と調整します。

内容	時期
募集期間	10月16日（金）～10月30日（金）
事前ヒアリング・マッチング	11月2日（月）～11月6日（金）
支援先事業所決定	11月10日（火）
開始前打合せ	11月16日（月）～11月27日（金）
伴走支援（約2か月）	12月～2月
事業検証のアンケート・ヒアリング	2月8日（月）～2月12日（金）

- ・ 本募集要項に記載する伴走支援者養成プログラムの内容及び実施方法等は、今後の検討状況により変更する場合があります。変更が生じた場合は、参加事業所に速やかにお知らせします。

15. 応募方法

- ・ 所定の応募フォームからお申し込みください。 応募締切：10月30日（金）13:00
- ・ 応募時には、法人・事業所等に関する基本情報に加え、現在困っていること、改善したい業務、これまでに行った取組、今回の伴走支援で取り組みたいこと等についてご記入いただきます。
- ・ セキュリティ等の事情で、応募フォームへのアクセスに制限がある場合は、下記連絡先へご連絡ください。

支援先事業所応募フォーム：<https://forms.gle/mbULhRfAwGZcJNNXA>

※ 正しくご入力いただいていることをご確認の上、送信してください。



【事業事務局】※本事業についてのお問い合わせ

株式会社善光総合研究所

デジタル中核人材事業担当：中矢・田村・星野

E-mail：d-jinzai@zenkou-lab.co.jp

- ※ 個人情報の利用目的：本事業でご登録いただいた情報は、厚生労働省の個人情報保護方針（<https://www.mhlw.go.jp/kojinjouhouhogo/index.html>）、株式会社善光総合研究所の個人情報保護方針（<https://zenkou-lab.co.jp/privacypolicy/>）に従い取扱います。個人情報は、本事業における支援先事業所の選定、マッチング、連絡調整、伴走支援の実施・検証、事業の報告、関連事業のご案内のために利用いたします。
- ※ 事業：デジタル中核人材の効果的な活用に関する調査研究事業一式（受託 株式会社善光総合研究所）